浜中町立茶内小学校　学校便り　　令和８年１０月２８日発行　No.７

茶内小だより

茶小の教育目標　〇思いやりのある子　〇自ら鍛える子　〇進んで学ぶ子

「学びの山を登る」

校　長　南　　卓　也

１０月１７日（土）に行われた「学習発表会～茶内アートコレクション２０２６～では、たくさんの保護者や地域の皆様にお越しいただき本当にありがとうございました。昨年工夫した座席シートが浸透し、最後の６年生の発表までお客さんで埋め尽くされ、大盛況の発表会になりました。そして、どの学年も子供たちのこれまでの学びの姿が垣間見える、素敵な発表になったと自負しています。

例えば、ある学年は、台本を自分たちで作り、みんなで意見を出し合い、セリフを改良しながら練習に励みました。ある学年は、手作りの道具を何度も改良を加えながら本番を迎えました。ある学年は、調べたことをどうやったらお客さんに分かりやすく伝わるかの話し合いに時間をかけて準備しました。

かつて主流だった学芸会では、教師が夜遅くまで残ってバック絵や大道具を作り、保護者に衣装の制作をお願いし、大人の劇団に負けない演技力でお客さんを喜ばせることを目標にしていました。たしかに見映えや格好良さは昔とは比べものにならないかもしれません。でも、今の学習発表会における子供たちが悩みながら磨き上げたセリフや思いのこもった手作りの道具には、それ以上の価値があると考えます。

そんな学習発表会にむけた取組を支えるのが、日常の学習スタイルです。本校では、１時間の授業だけでなく、単元全体をデザインする授業スタイルの研究を進めています。特に、算数科の学習において、単元全体を見通して、子供にどんな力をつけたいのか、どんな姿になっていれば良いのかを明確にした学習計画を立てます。進んで学びたくなるような問題と出会う時間、みんなで課題（ゴール）を決める時間、課題を解決するために試行錯誤する時間、自分の学びを振り返りながら、新たな問題を見つけたり実生活に生かしたりする時間、そんなプロセスを繰り返しながら、子供たちは自分で考える楽しさや充実感を養っていきます。

教科は違いますが、国語教育の研究で著名な大妻女子大学教授樺山敏郎氏の提唱する概念に「ラーニング・マウンテン」というものがあります。本校の研究と共通点が多くあり、単元の学習を山登りに見立て、下記のように学習サイクルを組み立てています。

①　学習の見通しをもつ（山を見上げる）
②　課題に挑みながら学びを進める（山を登る）
③　対話や協働を通して理解を深める（仲間と登る）
④　振り返りを通して学びを調整する（現在地を確かめる）

◆　子供たちは、頂上（ゴール）とそこへ至るルート（プロセス）を意識しながら、自らの学びを見通し、調整しつつ学習を進めていく。

これは、本校の学習発表会～茶内アートコレクション～を創り上げる過程と全く一緒です。ポイントは、子供たちが仲間と協働的に学びながら山を登ることです。そして、もう一つ重要なのは、教師はその山登りを見守り導きながら共に登っていくということです。

大きな学校行事が終わり、11月は、子供たちと教師が一緒に創り上げる日常の授業が中心となります。11月４日（水）には、釧路教育局と浜中町教育委員会の指導主事を招いての学校教育指導（研究授業）があり、10日（火）からは新企画の個人面談、24日（火）からは参観日もあります。これまで培った主体性や協調性を生かしながら、日々の学習を充実させていく子供と教師の姿を見ていただいたり、語り合ったりする素敵な時間になったらと思います。私のめざす頂上は、「地域と共に輝く茶内小学校」です。学校支援ボランティアや外部人材を活用した教育活動もたくさん予定しています。ぜひ一緒に山登りしましょう。

◇茶内地区サポーターまだ³募集中◇

茶内地区の子供達の学びを充実させるためのサポーターを募集しています。

11月～12月は特に「一緒に運動できる方（４年生）」「九九暗唱（２年生）」「そろばん（３・４年生中心）にご協力いただける方を募集中です。改めて近日中にご案内申し上げます。



11月行事予定

日	曜	学校行事・PTA行事など
1	日	週休日　浜中町総合文化祭作品展10/27～11/1
2	月	フッ化物洗口
3	火	祝日　文化の日
4	水	朝の読み聞かせ　学校教育指導（要請訪問）
5	木	
6	金	児童委員会⑧　町特別支援学習交流会② 定時退勤日
7	土	週休日
8	日	週休日　浜P連研究大会（文化センター）
9	月	スクールカウンセラー来校日⑫（午前）　家庭学習週間（～14日）
10	火	フッ化物洗口　個人面談①　子ども会議①
11	水	朝の読み聞かせ　職員会議
12	木	中学校１日登校（６年生）　Q-U交流 水曜時程（全学年５時間授業）
13	金	算数検定①　個人面談②　子ども会議② PTA星空観察会　定時退勤日
14	土	週休日
15	日	週休日　釧P連研究大会（白糠町）
16	月	個人面談③　子ども会議③
17	火	フッ化物洗口　個人面談④
18	水	朝の読み聞かせ　冬季避難訓練　校内研修⑭ 外国語教育アドバイザー巡回支援訪問
19	木	観光教育（６年）　家庭学習展（～27日）
20	金	子ども会議④　定時退勤日
21	土	週休日
22	日	週休日
23	月	祝日　勤労感謝の日
24	火	参観日（高）給食試食会　下校バス14:30
25	水	みんなの広場⑦　参観日（低）給食試食会
26	木	参観日（中）給食試食会
27	金	食に関する指導（３年）　子ども会議⑤ 定時退勤日
28	土	週休日
29	日	週休日
30	月	

あたたかいご声援、ありがとうございました。
「茶内小学校学習発表会～茶内アートコレクション 2026～」


プログラム1
「校長先生のお話」

10 月 17 日（土）、今年度の「茶コレ」を開催いたしました。今年度は、各教科等の日々の学習の成果を劇等で発表する学年が多く見られました。**スローガン「みんながチャンピオン、全力で感動させよう！茶内アートコレクション」**にあるとおり、子供たちは自分たちの最高の発表を最後の最後まで追究し、ねばり強く練習に励む姿がどの学年でも見られていました（児童公開日の日の午後も、ほぼすべての教室からその日の発表動画の音がもれ聞こえていました）。

保護者の皆様におかれましては、観覧方法のお願いなど、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。多くの皆様に、子供たちの充実感に満ち溢れた輝く笑顔をお届けできていれば幸いです。ご観覧いただき、ありがとうございました。


プログラム2
1年生「けんかした山」


プログラム3
2年生「群読劇　きつねのおきゃくさま」


プログラム4
3年生「めざせ昆虫マスター！草むら大冒険ツアー」


プログラム5
「児童会長のお話」


プログラム7
4年生「未来へつなごう！浜中町の自然」


プログラム6
5年生「あの日の風が吹く前に」


プログラム8
6年生「タピオカ・ツンドラ」

「厚岸情報館」に行ってきました

９月 29 日（火）に、２年生が生活科の学習の一環として「厚岸情報館」に行ってきました。スタートは「茶内駅」。公共の交通機関（ＪＲ）を使う学習をみんなで体験しました。

「厚岸情報館」では、本の貸し借りの仕方だけでなく、普段見ることのない書庫やバックヤードなども案内していただきました。発見をメモする活動もがんばりましたよ♪公共施設についてたくさん発見した１日になりました。







「牧場見学」に行ってきました

21 日（水）に３年生が社会科・総合的な学習の時間の学習の一環として、須藤ファームさんで「牧場見学」をさせていただきました。「酪農」についてのお話を伺うだけでなく、酪農に関わる様々な機械を見せていただいたり、仔牛の授乳体験をさせていただいたり、トラクターに乗せていただいたりとお腹いっぱい見学・体験させていただきました。



酪農に触れたことがある児童が多い３年生でしたが、より深く酪農の魅力について理解を深めた様子でした。



みんなの広場（校長講話）

14 日（水）のみんなの広場では、校長先生から学校教育目標に照らして、嬉しい話を３つ報告していただきました。



①　思いやりのある子

９月実施の「いじめアンケート」から「嫌な思いをしたことがある子」が減っていること。もし、嫌な思いをしたときは、一人で悩まず先生やお家の人など、周りの大人を頼ってください！

②　自ら鍛える子

スポーツへの挑戦をしている子の活躍がいっぱい聞こえてくること。町民マラソン大会へ積極的に参加していましたね!!（本校の教員もゴールの瞬間に会場で大歓声に包まれたとか…）

③　進んで学ぶ子

各学年の茶コレの取組を見ていると、どの学年も笑顔がいっぱいあふれていること。茶コレ本番がとても楽しみです！

茶内中学校「職場体験」

茶内中学校では、毎年２学期のこの時期に２年生の総合的な学習の時間の学習の一環として「職場体験学習」を行っています。



今年度は、「小学校で体験したい！」という生徒がおり、茶内小に白羽の矢が立ち、15、16 日両日に実施しました。



子供たちと直接触れ合うだけでなく、給食準備やお便りの仕分けなど外からは見えにくい仕事まで体験してもらい、勤労観、職業観に留まらず、児童観や自己理解に至るまでたくさんの発見ができたようでした。いつか職員として帰ってきてくれるかなぁと期待しています。

